

# 獣医統合医療における サプリメント「イペットS」の効果

かも動物病院

KAMO ANIMAL CLINIC

かも動物病院 伊藤宏泰 院長

---

# 統合医療とは（Integrative Medicine）

---

## ▶ 東京大学名誉教授 渥美和彦が提唱

## ▶ 統合医療とはなにか

- 生体には自然治癒力が備わっており、これにより生体は健康を保ち、病気を予防し、治療させる事が出来る。
- この自然治癒力と高めるのが統合医療ある。

## ▶ 統合医療の特色

1. 患者中心の医療、個別的医療である。
2. 身体のみならず、精神、社会性、霊性をも含めて全人的医療である。
3. 疾病の治療のみならず、疾病の予防や健康維持なども目指す。

## ▶ 統合医療の利用

近代西洋医学のもならず、伝統医療(TM)や相補・代替医療(CAM)などあらゆる療法を統合して利用するものである。

---

# サプリメント（Supplement）

---

- ▶ サプリメントは、「dietary supplement」に由来し、「健康補助食品」と訳されてきた。
  - ▶ 一般的にサプリメントは、「健康の維持増進を目的として利用される食品」をさす。
  - ▶ サプリメントは食品であることから、有効性にあたる[効能・効果]や摂取方法である[用法・用量]の表示は出来ない。
  - ▶ サプリメントに関わる規制として、「食品衛生法」、「健康増進法」、「薬事法」、「JAS法(農林物資の規制化及び品質表示の適正化に関する法律)」等の法律がある。
-

# イペットS (IPET-S)

---



## ▶ 原材料名

タヒボエキス、酵母エキス、デキストリン、シヨ糖脂肪酸エステル、微粒二酸化ケイ素

## ▶ タヒボTaheebo

ノウゼンカズラ科のタベブイア・アベネダエという樹木の外皮と本質部に挟まれた7mmほどの内部樹皮が原料。タヒボには、キノンという天然色素成分「NQ801」が含まれる。

## ▶ NQ801

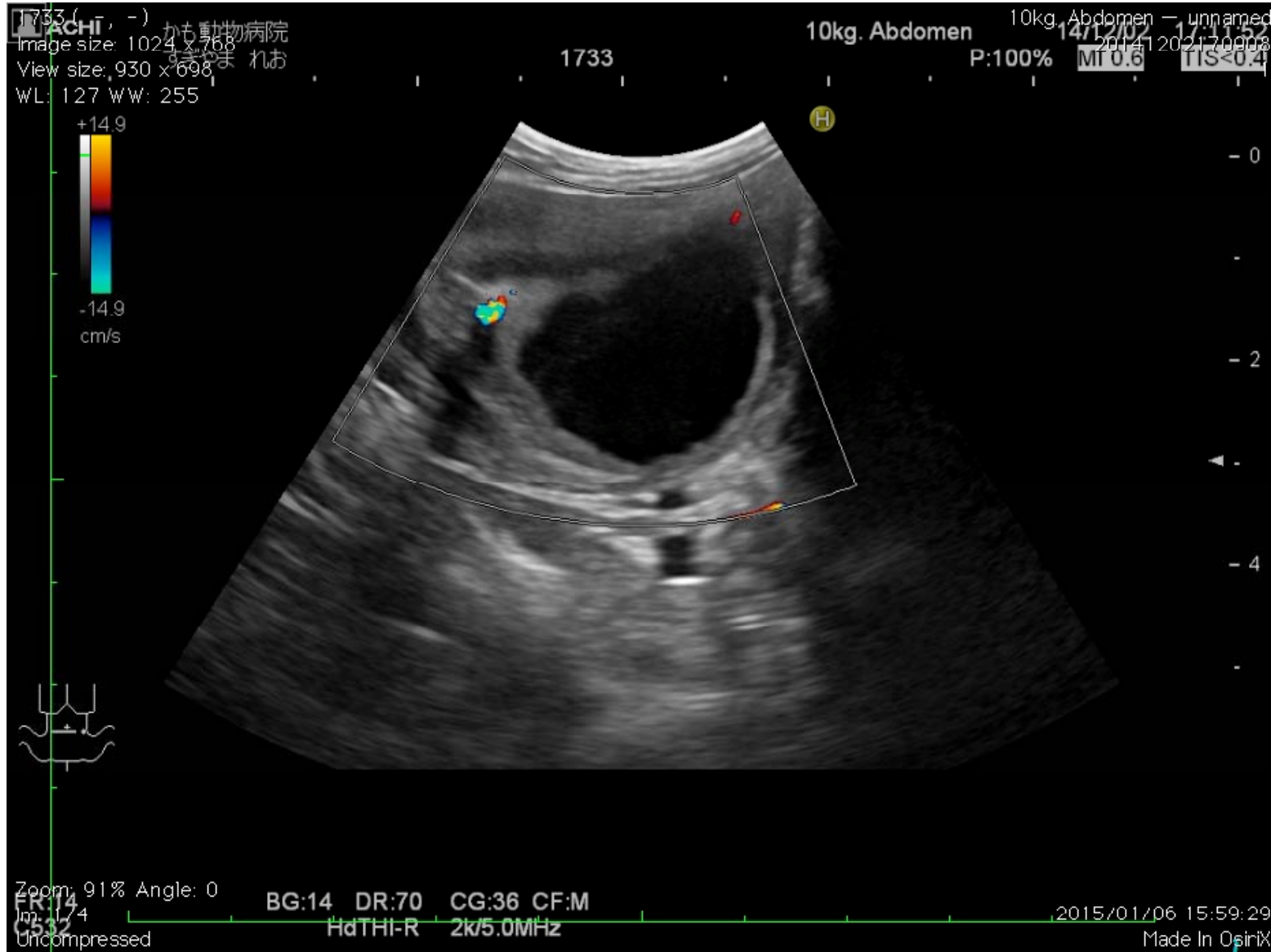
健康を維持する上で、優れた働きをする。

## ▶ **膀胱腫瘍、脾臓腫瘍**などに使用

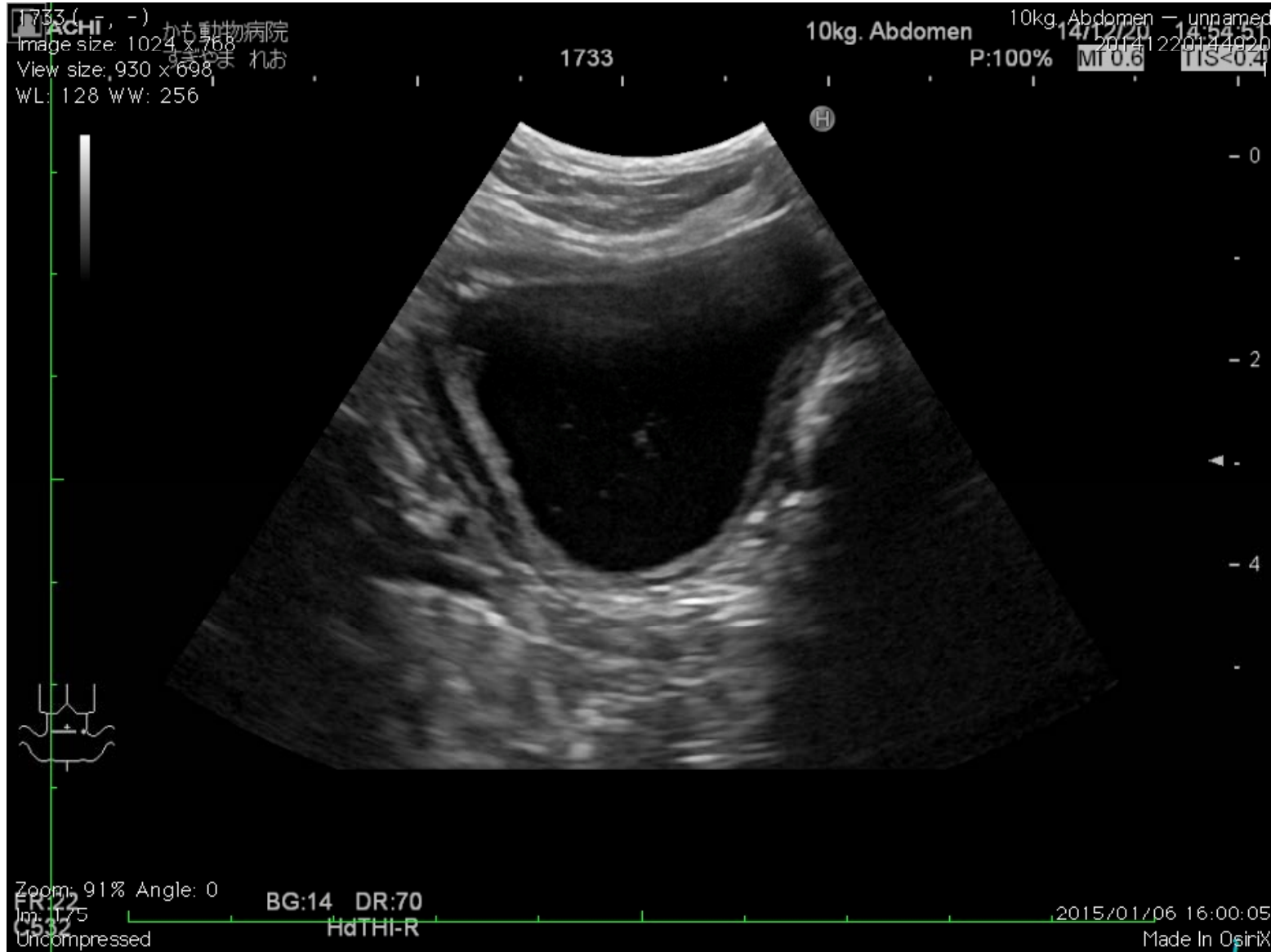
---



# 症例① 初診時



# 症例① 治療開始15日後



## 症例② W. コーギー、雌、12歳、13.4kg



▶ 主訴：尿漏れ、血尿

▶ 治療：

- プレドニゾン  
0.35mg/kg SID
- エンロフロキサシン  
3.7mg/kg SID

▶ 10日後改善無：

- イペットS 3錠 SID
- ピロキシカム 0.3mg/kg SID

▶ 20日後血液濃度低下：

- プレドニゾン  
1.5mg/kg SID
- イペットS 4錠 SID
- ピロキシカム 0.3mg/kg SID

▶ 40日後血尿無：

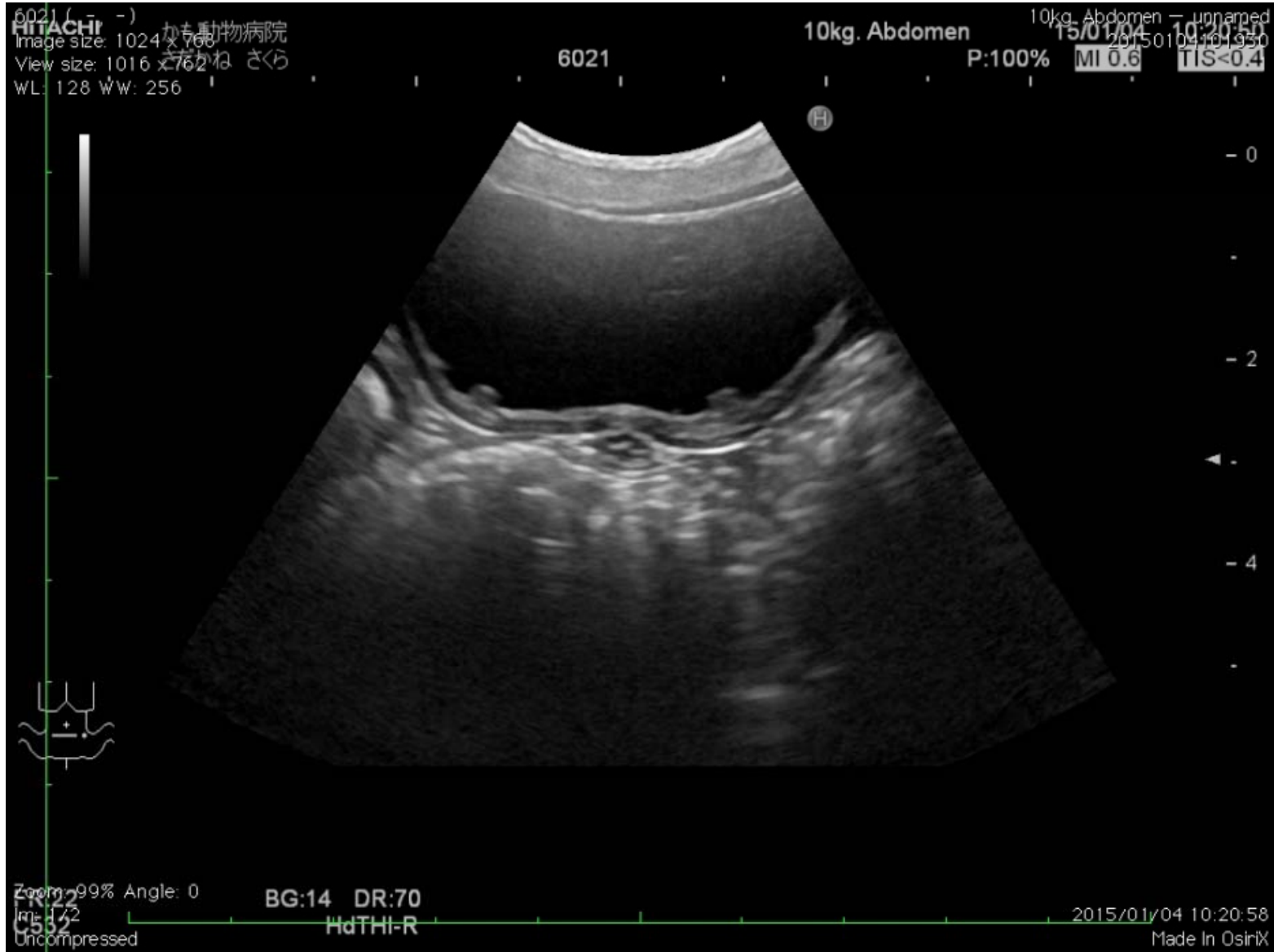
- イペットS 3錠 SID
- プレドニゾン  
1.5mg/kg SID



# 症例② 治療開始20日後



# 症例② 治療開始40日後



## 症例③ W.コーギー、雄、14歳、12.1kg

---



▶ 主訴:水様性下痢

▶ 所見:

前立腺肥大、脾臓腫瘍、  
低蛋白血症、貧血(HCT34.1%)

▶ 治療:

- イペットS 4錠 SID
  - プレドニゾロン  
0.8mg/kg SID
  - メトロニダゾール  
10mg/kg SID
-

# 症例③ 初診時



# 症例③ 初診時



# 症例③ 治療開始1ヵ月後



# 症例③ 治療開始3ヵ月後



# 症例③ 治療開始8ヵ月後





# 症例③ 治療開始14ヵ月後





## 症例④ シェルティー、雄、10歳、8kg

---

▶ 主訴：元気・食欲なし

▶ 所見：貧血、甲状腺機能低下症、脾臓腫瘍

▶ 治療：

- イペットS 2錠 SID

- チラージン

0.06mg/kg SID

- メトロニダゾール

10mg/kg SID

- オゾン注腸

10  $\mu$ g O<sub>3</sub>/ml x 40ml

2週毎

- マイルドハイパーサーミア

2週毎

---

# 症例④ 初診時



# 症例④ 治療開始6ヵ月後



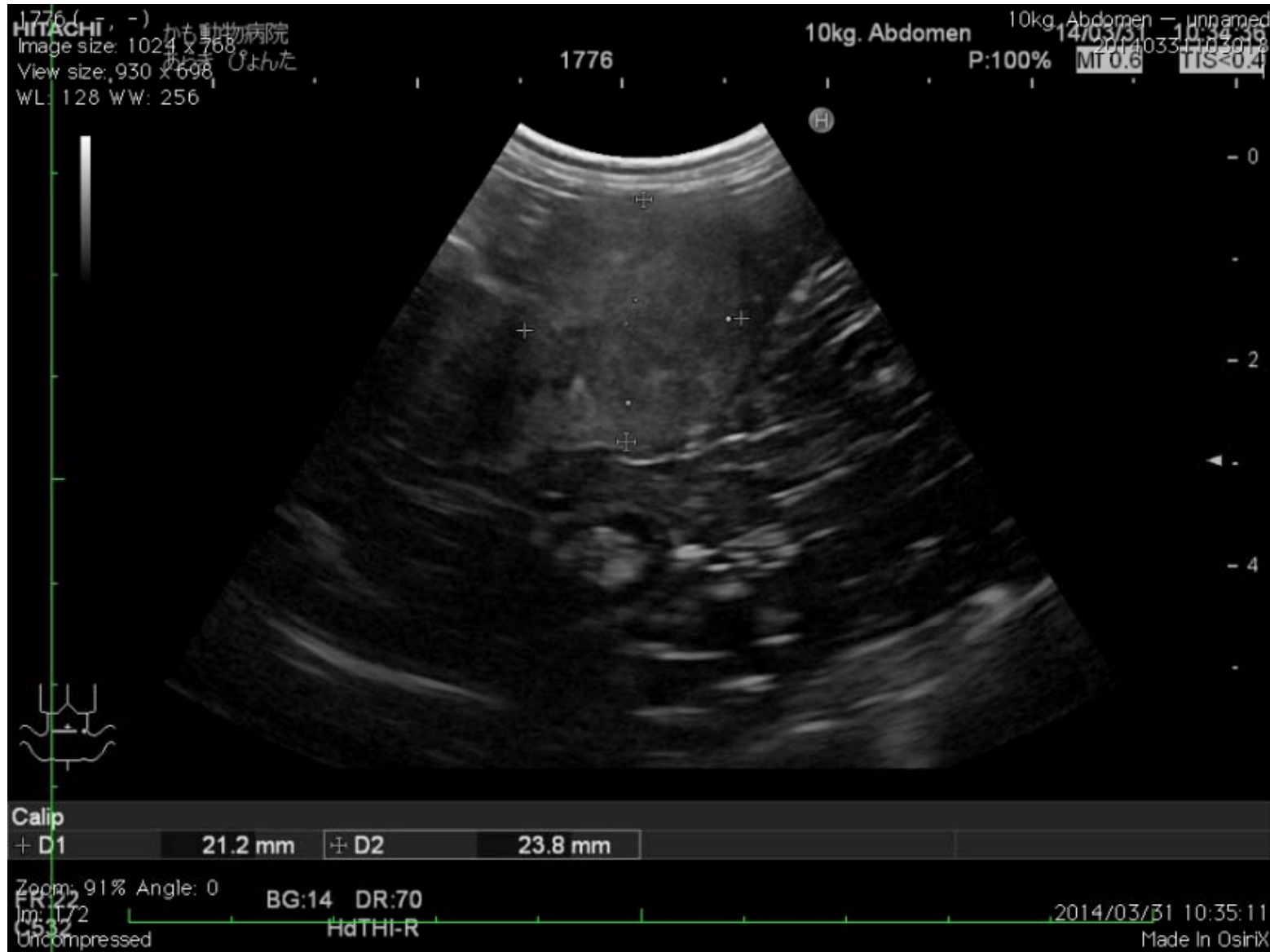
# 症例④ 開始治療7ヵ月後



# 症例④ 治療開始11ヵ月後



# 症例④ 治療開始15ヵ月後



# まとめ

---



- ▶ 腫瘍発現は、生体の免疫力が大きく関わっており、免疫活性を促すサプリメントは、腫瘍治療に有益なアイテムとなる可能性がある。
-



ご清聴有難うございました

